

事例検討会アンケート

開催日時：令和3年7月19日（月）

回答人数27人

| | 医師 | 看護師 | 薬剤師 | 栄養士 | PT |
|---------------------|-------|-----|-----|----------|-------|
| 1.あなたの職種について教えてください | 2 | 16 | 1 | 2 | 0 |
| | OT | ST | MSW | ケアマネージャー | 訪問看護師 |
| | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 介護福祉士 | その他 | | | |
| | 0 | 4 | | | |

| | 5年未満 | 5年以上 10年未満 | 10年以上 20年未満 | 20年以上 |
|---------------------------|------|---------------|----------------|-------|
| 2.現在の職業に就いてからの経験年数は何年ですか？ | 4 | 5 | 5 | 13 |

| | はい | いいえ |
|----------------------------|----|-----|
| 3.通常の勤務で、緩和ケアに関わることがありますか？ | 22 | 5 |

| | 大変有効である | 有効である | あまり有効ではない | 有効ではない |
|---|---------|-------|-----------|--------|
| 4.今回は複数の施設が関わった事例について検討を行いました。この検討会は地域間での連携を図る上で有効であったと思いますか？ | 17 | 10 | 0 | 0 |

| | 大変役に立つ | 役に立つ | あまり役にたかない | 役に立たない |
|---|--------|------|-----------|--------|
| 5.この検討会は、各施設で行われている緩和ケアについて理解するのに役立ちましたか？ | 16 | 11 | 0 | 0 |

| | 適当 | 長い | 短い |
|--------------------|----|----|----|
| 6.検討会の時間は、いかがでしたか？ | 26 | 1 | 0 |

| | 参加したい | 時間があれば参加したい | 参加したくない |
|----------------------------------|-------|-------------|---------|
| 7.今後、検討会を継続して行う予定ですが、参加を希望されますか？ | 13 | 14 | 0 |

| | 年に1回 | 年に2回 | 年に3回 | 年に4回 |
|---------------------------|------|------|------|------|
| 8.検討会の頻度は、どの程度が適当と思われますか？ | 4 | 11 | 4 | 8 |

9.検討会で取り上げて欲しいテーマについて教えてください

- 患者の意思に合わせた対応・方法について
- 在宅栄養管理に力を入れている施設があれば話を聞いてみたいです
- 今回のような在宅移行支援まで検討いただける内容
- 看取りの看護
- 疼痛コントロールについて（薬剤の選択方法など）
- 認知症患者のターミナルケア
- ACP（意思決定支援）
- 引き続きACPについて
- 遠隔モニタリングシステムや訪問診療の枠組みの普及により、自宅や施設への退院が可能となった症例があれば知りたいです
- 治験に色々種類があるので他のも見たいと思いました
- 今後、耳鼻科、2内科と関わる機会が多くなるため、耳鼻科と2内科関連のテーマの検討会に参加したいです

10.その他に感想やご意見がございましたらお願いいたします

- 家族の協力があって成功することも理解できた

- ・最後に山縣医師から言われた「ご家族から見たとき、ご本人ならばどうしたいと思われると思うか」という質問の仕方はとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・今回の検討会に参加できて、病棟でも役立つことを多く学べた
- ・認知低下があっても、「誰かの役に立ちたい」という思いをつなぐような支援ができていたと思います。ACPは、チーム医療で支えていくものだと思えて実感しました。ありがとうございました。
- ・グループワークが復活することを願っています
- ・今回のACPの話し合いは、何回ほど行われたのかが気になりましたので、ACPのプロセスの紹介もあると事例について理解しやすい
- ・最後に山縣医師がお話しされた「家族の意向」の内容が大変心に残りました。患者さんの気持ちを一番理解できる存在、予測できる存在という認識で、今後介入していこうと思った
- ・在宅の患者のレスパイトができればいいと思います
- ・なぜ在宅ではなかったのか…と最初は思いました。（個人的に本人は、在宅を希望していたのではと感じたので…）、でも色々な立場の職種の方の見解を聞くことができ、考えさせられました。とても参考になりました。
- ・多職種の方が多くかかわっていく事で、様々な視点で環境を調整することができ、結果的に患者さんへ最適な医療を提供できているのだと感じました。
- ・「地域」ということで、できれば院外の方の参加がもっとあれば良いかと…。今回、入所された施設の職員の発表もあると、その関係者の参加もあったのかなと思いました。
- ・コロナだからできること、家族が考える本人の思いなど確認したいと思う
- ・多職種の意見が聞けて、今後の患者の看護に繋げていきたいと思う
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。